まいりゅうリポート

vol.219
2026年11月

龍ケ崎市議会だより



初 たつのこワクワクワーク「議会のお仕事体験」を開催！





たつのこワクワクワークの詳細は５ページに掲載しています。

新議長が就任しました



議長 大野 誠一郎

市民の皆様には、日頃から、市議会はもとより市政の発展に対し、あたたかいご支援とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、議員各位のご推挙を賜り、議長に就任いたしました。

これまで 10 期にわたり議員活動を重ねてきた経験を生かし、議長としての責務を果たしてまいりたいと考えております。

市政の課題について活発で充実した議論が行われるよう取り組むと共に、議会の透明性を高め、市民の皆様に信頼され、より身近に感じていただける議会となるよう努めてまいります。

令和７年度 決算



令和８年９月定例会において、決算特別委員会（総務教育・健康福祉・都市経済）が開かれ、令和７年度決算の審査が行われました。

こちらでは、決算特別委員会での質疑内容を抜粋して掲載しています。

◀ YouTube はこちらからご覧いただけます。

各決算に対する決算特別委員会での審査結果

◆	一般会計決算	（314 億 1,682 万円） ……	賛成多数で認定
◆	国民健康保険事業特別会計決算	（ 67 億 3,055 万円） ……	全員賛成で認定
◆	介護保険事業特別会計決算	（ 64 億 5,440 万円） ……	全員賛成で認定
◆	児童発達支援事業特別会計決算	（ 1 億 2,571 万円） ……	全員賛成で認定
◆	後期高齢者医療事業特別会計決算	（ 22 億 6,285 万円） ……	全員賛成で認定
◆	下水道事業会計決算	（ 22 億 5,006 万円） ……	全員賛成で認定

専門実務研修について

伊藤 悦子 議員



議員 参加職員数と内容を伺います。

人事行政課長 実務研修は各課から要望のあった研修で39名が受講。特にドローン研修は６人が受講し、費用は一人当たり30万円です。

議員 研修した人だけではなく周りにも伝えた方が良い内容の取扱いはいかがですか。

人事行政課長 受講者だけで終わるのではなく、受講した後それぞれの所管課で資料の共有を行っていますが、さらに効果的に職員に広げたいと考えています。

企業誘致その先は

石引 礼穂 議員



議員 企業立地による雇用者２１５人のうち、市内在住者は何人か。また、市内在住者の雇用に対する奨励金の実績は。

商工観光課長 市内在住者数は把握しておらず、雇用奨励金の交付実績もない。

議員 市民雇用を条件とするのは難しくても、市が企業誘致を進める以上、市民の雇用や定住にどれだけつながったのか、参考として把握しておくことも必要ではないか。誘致後の効果まで見ていくことが大切だと考える。

保育士確保対策

櫻井　速人　議員



議員　近隣自治体では保育士待遇を手厚くする動きがあり、当市から他市への人材流出が懸念されます。保育士の確保と処遇改善に向け、どのような対策を考えていますか。

保育課長　市では、保育士になるための就学資金の貸付けや、就労者への家賃補助を実施しています。今後も既存の補助策に加え、移住・定住促進策との連携や、補助の在り方について検討を進めます。

英検の検定料補助事業

大野　みどり　議員



議員　受験者の減少の実態を鑑みて、事業のあり方の検討や取組を教えてください。

指導課長　英検３級相当の生徒数割合は、昨年度は４割程度でした。県の目標６割に近づけるために、英検３級以上の力を持っていても受けていない生徒もいますので、英検を受ける機会を増やすために、今年は英検対策講座を行っております。まずは、受験者を増やしていくというところから取り組んでいるところです。

こどもの居場所・遊び場創出事業

山宮　留美子　議員



議員　成果報告書にあるこどもの居場所・遊び場で、内容の見直し・拡充とありますが、内容を教えてください。

こども女性政策課長　「ここくれば」の開設については、２カ所から３カ所に拡充しましたが、地域のニーズや各小学校の児童数の推移を勘案しながら、検討を進めていきたいと思います。

議員　今後は、市内に住んでいる児童・生徒が安心して遊べるような、しっかりとした児童館ができるよう要望します。

済生会病院への支援

加藤　勉　議員



議員　済生会病院への運営費補助金（令和７年度は６千５百万円）を継続していますが、病院側から増額して欲しいとの要望はあるのでしょうか。

健康増進課長　全国的に病院経営は厳しい現状にあると言われており、済生会病院も同様の傾向にあるようです。令和７年度は若干ながら改善の兆しがあるものの厳しい状況が続いており、本年６月には市長宛てに、これまで同様の継続的な支援と、更には一層の支援を頂きたい旨の要望が届いています。

英語検定料助成事業

札野　章俊　議員



議員　英語検定の補助事業は英検取得を目指しているからではなく、子どもたちが将来にわたってグローバルなところで闘えるかどうかというふうに育ててもらいたいと思います。

指導課長　委託契約している派遣会社と連携し、授業の中で英語を発する機会だけではなく、オンラインで英語の先生と一対一で話すような機会や海外の学校とオンラインで結んで、英語でたくさん話をする機会というものを増やして、英語力の向上を目指しています。

乗合タクシー運行事業

久米原　孝子　議員



議員　新規登録者は５００人ですが現在登録されている人数とその年齢層は。

都市計画課長　現在３９８６名の方に登録していただいておりますが登録の年齢構成はデータとして把握してません。

議員　登録者３９８６名の中で、どれだけの方が利用しているのか、利用したくても利用できないことを調査していただきたい。使っている方はこういうところが便利とか、使わない方はこういうところが不便というアンケートを行ってください。

ＡＩオンデマンド交通事業について

山村　尚　議員



議員　ＡＩオンデマンド交通の利用者数が予定値・期待値まで伸びていない要因の一つに、スマホ操作が分からないことがあるとのことです。市民活動センターの高校生による高齢者向けスマホ教室などと連携し、利用登録や操作を支援してはどうですか。

都市計画課長　積極的に関わりたいと考えています。事務局や所管課と調整し、利用登録や操作を支援する場を設定できるか、話を進めていきます。

フッ化物洗口推進事業

岡部　賢士　議員



議員　取組状況について質問。

こども家庭センター課長　保育施設５施設で４、５歳児に対するフッ化物洗口の補助を行っている。小学校では現在は行っていない。

議員　虫歯予防や感染症予防など、健康維持に大変効果的。子どもたちの健康格差の是正にも繋がり、将来に渡って健康効果が期待できる素晴らしい取組。是非、全保育施設、学校にも広げ、更なる推進に向けた積極的な取組を！

スマート農業支援事業

山﨑　孝一　議員



議員　令和６年度より申請件数が半減しておりますが、その要因と今後の方向性について伺います。

農業政策課長　営農支援システム導入とドローン活用といったスマート農業が確実に浸透しております。ドローンの技能ライセンス取得、水位センサー等の購入は毎年購入するものではなく申請件数も減少しています。今後の方向性としては、これらの購入した機械等を現場でフルに活用、収益率向上につながるよう今後も支援していく方針です。

排水路等維持補修事業

後藤　光秀　議員



議員　用排水路等の清掃や補修は、地域からの要望を受けてから対応するとのことですが、高齢化が進む中、地域住民が定期的に清掃することは現実的に難しい現状です。そこで、市が用排水路等を定期的に点検・確認していくことについて、本市の見解を伺います。

下水道課長　職員が現場に出る際には、用排水路等にも目を配り、今後も日常的な巡視に努めてまいります。

市税の徴収率について

椎塚　俊裕　議員



議員　市税の徴収率の推移ですが、令和以降、徴収率が一番低い数字となっていますが理由を伺います。

納税課長　徴収率の減少の原因ですが、全般的な理由としては、近年の物価高というのが大きく影響していると考えています。経済状況が厳しい方は、納税が後になる場合もあるということです。また、もう一つの理由は、昨年10月にシステムの標準化があり、その影響もあったのではないかと考えています。

国民健康保険料　負担増必至!!

杉野　五郎　議員



議員　当該被保険者が減少傾向との事ですが、何が原因ですか。

保険年金課長　人口減少に加え、75歳以上の後期高齢者医療制度への移行や、短時間労働者への社会保険適用拡大が影響しています。

議員　老後生活を維持するには働かざるを得ないのが現実。ところが、被保険者数が減少している為、保険料の値上げは必至です。負担軽減策が急がれます。

新たな農作物への支援

鴻巣　義則　議員



議員　畑作農業ステップアップ支援事業について、14件、３８０万円の支援内容の内訳を伺います。

農業政策課長　トマトハウスの張り替えや農業機械、ドローン、井戸の新設などに活用しています。

議員　従来の設備更新などへの支援だけでなく、新しい農作物を作るなど、新たな取組に挑戦する農業者にも支援を広げ、幅広く活用できる制度となるよう要望します。

部活動の地域展開

大野　誠一郎　議員



議員　部活動の地域展開の状況について伺います。

文化・生涯学習課長　本市では、市が指導者を雇用する「直営型」と既存のクラブチームなどを活用する「既存団体活用」のハイブリッド方式で運営しており、３４０名の生徒が活動しています。課題としては、学校ごとの部活動存続が難しいため複数校でチームを組む必要が生じ、学校間での移動が発生していることがあります。

用語解説　～「請願」と「陳情」～



市民の皆さんの「こうしてほしい」「こんなことに困っている」といった意見や要望を市政に反映させるため、議会に施策の実現などを要望する制度です。市政などについて意見や要望があるときは、どなたでも市議会に請願書や陳情書を提出できます。

提出された請願や陳情は、「**龍ケ崎市議会請願及び陳情取扱規程**」に基づいて、内容に応じて委員会で審査・調査を行います。

【請願】
- 憲法（第 16 条）に基づく国民の権利
- 市議会議員の紹介が**必要**
- 常任委員会などで審査し「採択」・「不採択」を決定

【陳情】
- 法的な根拠に基づく権利ではありません
- 市議会議員の紹介は**不要**
- 常任委員会などで審査し「採択」・「不採択」を決定
- 市外から提出された陳情書は審議対象外

たつのこワクワクワーク
「議会のお仕事体験」を開催

「たつのこワクワクワーク」とは、地域の仕事や人との関わりを通して、子どもたちが地域への理解を深め、ふるさとへの愛着を育むことを目的とした取組です。

市議会では、子どもたちに議会の役割や議員の仕事を知ってもらい、議会を身近なものとして感じるきっかけにしてほしいとの思いから、８月 20 日（木）に「たつのこワクワクワーク」のプログラムの一つとして「議会のお仕事体験」を実施しました。

当日は、小学４年生３名、５年生２名、６年生２名の計７名に参加していただきました。

今回の取組が、参加した子どもたちにとって、議会やまちづくりへの関心を深める機会となるとともに、議会を身近に感じていただくきっかけになれば幸いです。

体験の内容



◆委嘱状と議員バッジの授与

参加者に委嘱状とオリジナルの議員バッジを授与しました。







◆議会や議員について学ぼう

議員から「議会の役割」や「議員のお仕事」についてクイズを交えながら説明しました。

議員は、市民の皆さんの代表として意見や要望を聞き、議会で市の仕事について質問や提案をするなど、よりよいまちづくりのために活動していることを知ってもらいました。



◆議会の施設をのぞいてみよう

議場をはじめ、普段は入る機会の少ない議長室や委員会室、傍聴席、議員控室、放送室などを見学し、市議会の雰囲気を感じてもらいました。



◆「本会議」を体験してみよう

模擬議案に対し、参加した子どもたちが議員になりきって賛成・反対の討論を行い、電子採決を体験しました。

議案１「給食の飲み物を牛乳からお茶に変更する条例について」

議案２「夏休みと冬休みの期間を同じにする条例について」







本会議 ダイジェスト Digest

審議された主な議案の内容と、本会議で行われた議案に対する質疑や討論の一部について掲載しています。
議案を所管する委員会においても、議案等の審査を行っており、その審査内容の一部を次ページに掲載しています。

▼第3回定例会（9月）

◆議案第1号
龍ケ崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例等の一部を改正する条例について

「龍ケ崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例」、「龍ケ崎市立図書館の設置及び管理に関する条例」及び「龍ケ崎市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例」において定めている損害賠償の免責に関することは市長が行うものであることを明確にするため、改正を行うものです。

◆議案第2号
龍ケ崎市総合運動公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

たつのこスタジアムの利用期間を通年で利用できるようにし、開場時間を午前6時から午後9時までに拡充するため、改正を行うものです。



◆議案第4号
龍ケ崎市家庭的保育事業等の整備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について

国が定める「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」の改正に準じ、3歳児から5歳児までのみを対象とした小規模保育事業、「満3歳以上限定小規模保育事業」の創設に伴う改正のほか、特定理学療法士等の配置に関する特例を設けるなど、所要の改正を行うものです。

◎質疑

伊藤議員　市は、保育士資格をどのように捉えているのでしょうか。また、理学療法士等は、保育士としての役割を確実に実践できるのでしょうか。

こども未来部長　保育士資格は、国家資格であり、専門的な知識と技術に基づき、子どもの発達過程に応じた心身の健やかな育成や生活全般の援助を行うものと認識しています。

また、理学療法士等の専門職は、従来の保育士の代替として配置するのではなく、あくまでも専門職と保育士が協働し、より充実した保育環境を構築するためのものです。適切な保育体制が維持できるよう指導監督していきます。

◎反対討論

伊藤議員　保育士は保育士として配置基準に従い確保すべきであり、保育士数の算定基準緩和は問題だと考え、反対します。



◆議案第13号
令和8年度龍ケ崎市一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ10億2739万1千円を追加し、総額を319億390万8千円とするものです。

この補正予算は、人事異動等に伴う職員給与費、会計年度任用職員給与費の増減調整のほか、令和7年度の実績確定に伴う国県支出金の精算や地域総合整備資金貸付制度（ふるさと融資）を活用し、市内に工場を新設する民間事業者への無利子の貸付金などを計上しています。



◆議案第14号
龍ケ崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

子ども・子育て支援金制度の施行に伴う保険税収納システム改修費に対する国庫補助金の計上や人事異動等の職員給与費、令和7年度実績確定に伴う県支出金の精算手続きなど、補正予算を行うものです。

◎反対討論

伊藤議員　市民の望みは、高過ぎる国民健康保険税の負担軽減です。国に対し、支援金制度の撤回を求め、子育て支援の十分な施策ができるよう、社会保険予算の拡充を行うべきと考え、反対します。

◆報告第1号
専決処分の承認を求めることについて（令和8年度龍ケ崎市一般会計補正予算（第2号））

中東情勢による原材料費の高騰や製造期間の長期化を踏まえ、市指定ごみ袋の安定供給に必要な在庫を確保するため、経費を計上したものです。



常任委員会



第３回定例会においては、議案等の審査が３つの常任委員会（総務教育、健康福祉、都市経済）に付託され、各委員会において慎重に審査が行われました。その審査内容の一部について掲載しています。

▼総務教育委員会

◆議案第１号
龍ケ崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例について

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成**で了承しました。

油原委員　指定管理者との契約者はあくまで市長であることを鑑みれば、損害賠償に関する条例においても「市長等」や「教育委員会」ではなく、初めから「市長が認めたとき」としておくべきだったのではないでしょうか。

管財課長　損害賠償の免除を認めることができるのは契約者である市長のみであることから、実情との整合性を図り、条文の一部を改正します。

◆議案第13号
令和８年度龍ケ崎市一般会計補正予算（第３号）

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成**で了承しました。

杉野委員　職員給与費に関して、当初予算の計上後に若年層の退職者が出てきており、その傾向が今後も続くのではないかと懸念されているが、退職の原因について伺います。

人事行政課長　退職理由には、転職によるキャリアアップ、結婚によるライフスタイルの変化や体調不良などがあり、一つのことが要因になって退職となったわけではないと考えています。

▼健康福祉委員会

◆議案第２号
龍ケ崎市総合運動公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成**で了承しました。

山宮委員　龍ケ崎市総合運動公園を構成する施設の一つであるＴＯＫＩＷＡスタジアム龍ケ崎（たつのこスタジアム）の利用について、通年利用ができるとのことですが、稼働率はどれくらいになると見込んでいますか。

スポーツ推進課長　野球場は土日の利用がメインになるため、稼働率自体は大きく変わらないのではないかと考えております。また、休場期間としている１月と２月を利用可能とし、11月・12月・３月の開場時間を午後９時まで延長することで、利用者数は増えると見込んでいます。

◆議案第19号
令和８年度龍ケ崎市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成**で了承しました。

鴻巣委員　介護保険料特別徴収誤りに伴う対応とのことですが、追加納付や還付となる金額はどの程度ですか。

介護保険課長　追加納付となる方は、最小が１００円、最大が３万６３００円で、還付となる方は、最小が１００円、最大が３万７０００円です。



▼都市経済委員会

◆議案第13号
令和８年度龍ケ崎市一般会計補正予算（第１号）

委員より質疑があった後、採決の結果、**全員賛成**で了承しました。

椎塚委員　都市公園管理費の中で、龍ヶ岡公園のステージの改修工事が含まれていると思います。以前にも１度改修工事を行っていますが、何年くらいのサイクルで行うのですか。また前回、改修工事した場所と今回の場所は違う場所でしょうか。

道路公園課長　今回の改修工事も前回と同じ場所になります。平成28年にステージの床全面の張替を行いましたが、約10年が経過し、床材が毛羽立ち、とげが刺さる等のケガが報告されているため、研磨をかけて塗装を行い補修します。

大野委員　龍ヶ岡公園の再整備に向けてサウンディング調査を行っていますが、公園施設利用時の有料化も視野に入れているのでしょうか。

道路公園課長　整備の方向性については、サウンディング調査で広く民間事業者のアイデア等を募集し、意見を頂いたところです。今後、いろいろな可能性が考えられますので、有料施設の設置も一つの案として考えられます。

議決結果

令和８年第３回定例会　（会期：９月１日～９月 17 日（17 日間））

議案等番号		件　　名	議決結果
議案	第１号	龍ケ崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例等の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第２号	龍ケ崎市総合運動公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第３号	龍ケ崎市立保育所設置条例及び龍ケ崎市特定教育・保育施設等の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第４号	龍ケ崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	賛成多数で可決
	第５号	龍ケ崎市放課後児童健全育成事業実施条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第６号	龍ケ崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育所事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全員賛成で可決
	第７号	令和７年度龍ケ崎市一般会計歳入歳出決算について	賛成多数で認定
	第８号	令和７年度龍ケ崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について	全員賛成で認定
	第９号	令和７年度龍ケ崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について	全員賛成で認定
	第 10 号	令和７年度龍ケ崎市児童発達支援事業特別会計歳入歳出決算について	全員賛成で認定
	第 11 号	令和７年度龍ケ崎市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について	全員賛成で認定
	第 12 号	令和７年度龍ケ崎市下水道事業会計未処分利益余剰金の処分及び決算について	全員賛成で可決及び認定
	第 13 号	令和８年度龍ケ崎市一般会計補正予算（第３号）	全員賛成で可決
	第 14 号	令和８年度龍ケ崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	賛成多数で可決
	第 15 号	令和８年度龍ケ崎市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	全員賛成で可決
	第 16 号	令和８年度龍ケ崎市児童発達支援事業特別会計補正予算（第１号）	全員賛成で可決
	第 17 号	令和８年度龍ケ崎市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第１号）	全員賛成で可決
	第 18 号	令和８年度龍ケ崎市下水道事業会計補正予算（第２号）	全員賛成で可決
	第 19 号	令和８年度龍ケ崎市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）について	全員賛成で可決
	第 20 号	令和８年度龍ケ崎市一般会計補正予算（第４号）	全員賛成で可決
諮問	第１号	人権擁護委員の推薦について	全員賛成で同意

※賛否が分かれた議案等（　　部分）に対する議員の態度については、次ページに掲載しています

議案等番号		件　　名	議決結果
報告	第１号	専決処分の承認を求めることについて（令和８年度龍ケ崎市一般会計補正予算（第２号））	全員賛成で承認
	第２号	専決処分の承認を求めることについて（和解に関することについて）〔市民が運転する軽乗用車が龍ケ崎市農産物等直売所の外壁を損傷させた事故〕	全員賛成で承認
	第３号	専決処分の承認を求めることについて（和解に関することについて）〔職員が除草作業中に小石を飛散させ市民が所有する小型乗用車を損傷させた事故〕	全員賛成で承認
	第４号	専決処分の承認を求めることについて（和解に関することについて）〔小学校の配膳室前の搬入口において、台車が落下し市外の会社が使用する軽自動車を損傷させた事故〕	全員賛成で承認
	第５号	令和７年度龍ケ崎市一般会計継続費清算報告書について	－
	第６号	令和７年度龍ケ崎市歳入歳出決算に係る健全化判断比率について	－
	第７号	令和７年度龍ケ崎市歳入歳出決算に係る資金不足比率について	－
	第８号	公益財団法人龍ケ崎市まちづくり・文化財団の経営状況について	－
令和８年請願第２号		教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	全員賛成で採択
令和８年請願第３号		龍ケ崎市一般防犯灯の維持管理の市への移管に関する請願	全員賛成で採択
令和８年陳情第１号		新たに創設「（仮）龍ケ崎市観光基本条例」法案の設定陳情書	全員反対で不採択
意見書案第１号		教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書	全員賛成で可決

※議案第７号から議案第 12 号は、令和７年度決算に関する議案です
※報告第５号から報告第８号は、地方自治法の規定による報告であるため採決は行いません
※請願、陳情の内容は、市議会ホームページに掲載しています
※請願、陳情の審議の様子は YouTube でご覧いただけます

議案等に対する議員の賛否



※採決の結果、賛否が分かれた議案等を掲載しています
※議長（後藤 (敦) 議員）は採決に加わりません
※金剛寺議員は体調不良により欠席しています

○＝賛成　×＝反対　欠＝欠席

議案番号	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別																					
		賛成	反対	金剛寺	伊藤	石引	櫻井	札野	大野（み）	久米原	山宮	石嶋	山村	加藤	岡部	山﨑	後藤（光）	椎塚	油原	大竹	後藤（敦）	杉野	寺田	鴻巣	大野（誠）
議 4	可決	19	1	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議 7	可決	19	1	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
議 14	可決	19	1	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○

市政を問う

一般質問



一般質問とは

議員が、市の行政全般にわたり、執行状況や将来の方針などを質問したり、政策提言を行うもので、定例会のみ行われます。

質問時間は、答弁時間を含め、議員1名につき90分以内で、時間内であれば何回でも質問できます。

◀ Youtube はこちらからご覧いただけます。

タッポくん健康マイレージについて

久米原　孝子　議員



議員　タッポくん健康マイレージは、平成29年12月から開始して、今年の12月で9年を迎えます。

登録者数の推移、令和8年度からのポイントの見直しの狙いと期待される効果について伺います。

健康スポーツ部長　平成31年度末時点の登録者数は、1822人。その後は、毎年約300人程度増加し、本年7月末時点では、3971人が登録しています。

今回の見直しは、参加者の皆様からの意見も参考に、従来の健診受診を重視した制度から歩くことでポイントをためやすい制度へ転換しました。

日々の歩く活動の価値を高め、歩くことと健診受診の両方を通じて健康管理と健康づくりを推進し、健康増進につながることを期待しています。

議員　参加者が特定の健康意識の高い層に偏らないよう、未参加者や現役世代に参加していただくための取組について伺います。

健康スポーツ部長　事業の周知や利用促進を行うとともに、先進自治体の事例を調査・研究し、若い世代をはじめ、多くの市民の皆様が健康づくりに積極的に取り組んでいただけるよう、事業の一層の充実に努めます。

議員　多くの方に健康づくりに参加していただけるよう市公式LINEのアプリを活用するなど、タッポくん健康マイレージが利用しやすくなるよう検討をお願いします。



ひきこもり支援について

大野　みどり　議員



議員　ご家族にとって、市役所や保健所にひきこもりの相談に行くことが、どんなに勇気がいることなのか。悩みながら相談に行かないケースがほとんどだと思います。

相談者も家族からが多く、当事者へのアドバイスができないケースが多いと思われますが、つなぎ先のない中間支援についてお聞かせください。

福祉部長　解決していくためには、本人やそのご家族との信頼関係を構築することが何よりも大切であり、時間はかかりますが、根気強く寄り添うことが市としてやるべきことだと考えております。

議員　市の姿勢は分かりますが、やはり私は、会うことへの訪問支援の体制を整えることが1番だと思います。

当市の現状は、県ひきこもりセンターによる相談が年に1回。訪問支援体制はできていないと思います。相談窓口の案内パンフレットも無い。周知もどのようにされているのか。

近隣自治体の事例ですが、取手市では、一般社団法人アイネットに委託し、手厚い相談体制を整え、社協の職員3名体制で、民生委員、地域包括関係者と連携を取りながら、1名に対し月1回訪問支援を行っています。

このような支援体制を要望しますが、見解をお答えください。

福祉部長　本市の現状は訪問による継続的な相談支援にまでは至っておりません。議員からご提案いただいた内容も踏まえて、充実化について他の自治体の事例を調査研究してまいります。

災害時の人的受援体制について

山宮　留美子　議員



議員　各地で想定外の災害が頻発する中、龍ケ崎市の災害対応について、特に他市町村との相互協定の取り組みについてはどのようになっていますか。

危機管理監　本市では茨城県内外の54の自治体と災害時相互応援協定を締結し、災害の種類や規模に応じて相互に人的・物的支援を行う体制を整備しています。

議員　災害時の市職員の業務計画と体制についてお聞きします。

危機管理監　災害時には業務継続計画に基づき職員を緊急時優先業務に配置し、不足する人員については、協定自治体から応援を受け入れる体制を整えています。

議員　この計画が災害時に明確に機能出来るよう要望いたします。

視覚障がい者の支援の在り方について

議員　視覚障がい者に対する行政情報アクセスの現状と課題についてお聞きします。

福祉部長　多様な媒体を活用した情報発信に努めていますが、必要な情報が十分に伝わらないという「情報のバリアフリー」への課題があることを認識しています。

議員　行政の情報が、視覚障がい者の方々にきちんと伝わり、誰もが安心して住み続けられる仕組みを第一に考え、取り組んでいただくよう、アクセシビリティの向上を強く求めます。

魅力あるまちづくりについて

札野　章俊　議員



議員　県内において数市の合併が報道されていますが、自治体の合併により人口減少が抑えられるのか市の見解を伺います。

総合政策部長　規模の拡大によりスケールメリットが行財政運営の効率化や住民サービスの充実に資するものであったとしても、人口減少の直接的な解決策にはならないと受け止めています。

議員　龍ケ崎市のコンパクトシティの認識を伺います。

都市整備部長　今後も居住及び都市機能の誘導と併せ本市が目指す多極ネットワーク型コンパクトシティを推進してまいります。

議員　ネットワーク型のコンパクトシティを実現するのであれば、バスであろうがライトレールであろうが、四つの居住区を結ばなければいけない。

　市内の交通インフラの再編成にかかっていると思いますが、市の見解をお聞かせください。

都市整備部長　人口や財政状況などを踏まえたまちの規模感に合った交通インフラの整備を図っていくことが大変肝要であると捉えており、令和12年度を目途としている地域公共交通の再編の内容を検討していくといったスケジュールを想定しているところです。

議員　竜ヶ崎線の今後にあたって、利用者が少なくなった既存の路線をリニューアルするのではなく、四つの居住区を結ぶネットワーク型の移動手段として、ＢＲＴなりＬＲＴなりを考えるべきだと思います。

行政改革における事業仕分けについて

油原　信義　議員



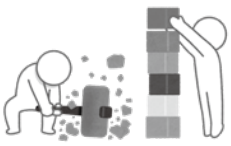
議員　事務事業の見直しは、スクラップアンドビルドにあると認識しています。

　既存の事業を客観的に評価する「現状評価」、優先順位が低いものから終了させる「計画的な廃止」、浮いたリソースを新規事業に振り分ける「新陳代謝の促進」にあります。

　事業仕分けの特徴は、公開の場で議論する、外部の視点から現場や民間の視点、「そもそもこの事業は必要なのか」、「行政がやるべきか、民間がやるべきか」、廃止・縮小・民間移行・事業手法の見直し・事業の整理統合と明確な判定がなされ、これまでに見えにくかった予算の使途や決定過程など、行政の透明化にありますが、事業仕分けの認識についてお伺いします。

総合政策部長　事業仕分けにつきましては、外部有識者などで構成される、いわゆる「仕分け人」が事務事業の目的や成果、経費の妥当性などを整理・検討する、外部視点による行政評価手法の一つであると認識しております。行政運営の透明性の向上や説明責任を果たすことで市民の納得性が高められます。

　今後につきましても、行政視点のみに偏らない事業評価となるよう、事業仕分けで取り入れられた視点も参考にしながら、外部評価の実効性を確保し、事務事業の見直しを始めとした行政改革を推進してまいります。



豪雨災害への水害リスクと防災意識

椎塚　俊裕　議員



議員　龍ケ崎市内水ハザードマップは、改善の余地があると思いますが、ご所見を伺います。

危機管理監　本市では、令和８年５月に内水ハザードマップを市内全戸に配布しました。近年の集中豪雨の激甚化や都市化の進展を踏まえ、定期的に点検、検証することが重要です。重要視点は３つ、近年の実際の浸水、道路冠水などの発生箇所との照合、下水道、側溝、水路、排水ポンプなどの整備状況の変化の反映、浸水時に通行できなくなる道路と避難経路への影響の再評価です。特に、内水氾濫は、河川が氾濫しなくても発生するため、市全域の浸水想定区域を明らかにし、実践的にしていくことが重要です。

竜鉄とまちなか再生

議員　竜ヶ崎線は、龍ケ崎を象徴する財産だと再認識するべきで、鉄道の乗降客も含め竜ヶ崎駅周辺の都市機能の位置づけを発展させる意味でも、駅北開発等、公共施設更新の際、集約化など民間との連携を含め考え方を伺います。

都市整備部長　竜ヶ崎線沿線の土地利用開発は民間開発動向を注視し、市街地の都市機能の補完等に有効な場合や、竜ヶ崎線の在り方に寄与するような土地利用に関する相談があった場合は、市でも地区計画制度や都市計画制度を積極的に活用し、土地利用を支援していきます。

今こそ持続可能な龍ケ崎市へのアプローチ

大竹　昇　議員



議員　２０００年から２０２５年の５カ年別の経常収支比率と生産年齢人口並びにその相関関係について伺います。

総務部長　総務省の確定値で２０００年85・１％、２０２０年93・２％、２０２５年93・８％、生産人口は２０００年５４３６１人、２０２０年４４３６１人で２０１５年から大幅に減少しています。

　担税力のある生産人口が多ければ、経常収支比率の改善、一般財源の余裕度の向上に努め、生産人口の転入促進、転出抑制の好循環施策が進められます。

議員　龍ケ崎市のふるさと納税について、直近５年の寄付額と件数の推移を伺います。

市民経済部長　令和３年度、１億８８００万円、４０２０件令和７度年４億５５００万円、１万４８９６件です。

議員　財政に寄与する関係人口の定義、取組について伺います。

総合政策部長　一般的に定住者、移住者といった居住する人口でもなく、観光に来た交流人口でもなく、地域との関り、繋がりを持つ人です。

　関係人口創出の取組として、龍ケ崎ファンクラブ事業で、１２００名の登録がなされています。

議員　ごみ処理の広域化及び集約化の優位性についてお聞かせください。

都市整備部長　人口減少によるごみ排出量の削減や施設の老朽化が進み施設の集約化によるスケールメリットが期待され建設費や維持管理費等の処理経費の抑制につながるものと考えております。

子どもの熱中症対策を一歩前へ

後藤　光秀　議員



議員　保護者から「登下校時の熱中症対策としてネッククーラー等を持たせたいが、学校には生徒が使用できる冷蔵庫や冷凍庫がない」といった声があります。保健室の冷蔵庫等は、主に体調不良やけがの際に使用するものです。

　熱中症を未然に防ぐため、各教室や学年フロア、昇降口などに、生徒が利用できる冷蔵庫・冷凍庫を設置してはいかがでしょうか。

教育部長　夏場の暑さが進行していることから、近隣自治体の動向も踏まえ、本市として導入するか調査研究してまいります。

龍ケ崎花火の実現へ

議員　大型花火大会には費用や交通、警備など多くの課題があります。そこで、既存の祭りやイベントのフィナーレとして、まずは小規模な打ち上げ花火から始めてはいかがでしょうか。

　将来的に大型花火大会の実現につなげるためにも、市民や企業、関係団体と連携しながら、段階的に検討していくことについて、本市の見解を伺います。

市民経済部長　ご提案のように、市内の各種イベントのフィナーレを飾るものとして、まずは小規模な花火を楽しむ機会について検討してまいります。



外国人住民の増加に伴う本市の考え方について

石嶋　照幸　議員



議員　多文化共生の実現には、外国籍住民が日本の生活ルールやマナー、地域の慣習を理解し、責任を果たすことが前提となる一方、日本人住民も異なる文化や背景を尊重し、互いに寄り添いながら相互理解を深めることが重要であると考えます。単なる受け入れや支援にとどまらず、双方が学び合い、共に住みよい地域をつくる取組が求められているのではないでしょうか。

　市長の2期目の公約に掲げられた海外都市との交流について、近年、外国籍住民が増加し、地域経済や教育、地域コミュニティーなどで国際化が進む中、交流を公約に掲げた具体的な理由や真意、地域活性化や市民への還元につなげる方策、交流先として想定する国や都市についてお聞かせください。

市長　海外都市との交流を通じて、市民の郷土愛の醸成、多文化共生の推進、地域経済の活性化という3つの効果を目指します。交流を単なる友好親善にとどめず、伝統文化や特産品の海外発信、インバウンド誘致などにつなげ、本市の持続的な成長を目的とします。

　交流先は、茨城県内の自治体で交流実績のあることや龍・流連携を締結している流通経済大学と交流があることから、台湾や韓国を想定し、社会情勢や安全性を考慮しながら準備を進めていきます。一歩ずつとなりますが、公約の実現に向けて協議や準備を進め、未来の龍ケ崎市に向けた確実な海外交流の足がかりを構築したいと考えてます。

学校給食の無償を来年度も求める

伊藤　悦子　議員



議員　物価上昇で生活は厳しくなるばかりの中で子育て支援が求められます。今年、全学年の給食費無償は大変喜ばれ「来年度も無償に」は保護者の強い願いです。いかがですか。

教育部長　令和9年度以降の給食費について、第3子無償化事業、物価高騰分の差額補填、中学3年生無償化事業、小学校無償化は継続します。中学1・2年生に係る無償化は新たに財源確保が必要不可欠で、今後、国・県の動向を注視したい。

議員　物価高騰で保護者の教育費負担は大変です。憲法は、教育費は無償であると明記し、国は、無償化は自治体の判断としています。市長の考えは。

市長　子育て世代の経済的負担の軽減につながると重視していますが、今後も緊急度や重要度を見極め、優先順位を判断し取り組みます。

議員　物価高騰が続く中で給食費負担は保護者に重い負担です。いい方向で検討してください。

市立小中学校のエアコン設置について

議員　停電時でも使用でき、環境や避難所としての機能に配慮した機種について伺います。

教育部長　省エネ基準に準拠し、省エネ等の環境に配慮した機種を選定するよう実施設計で検討を進めています。小中学校の体育館は大規模災害時の避難所としての役割も担っており、万が一の停電時においても冷暖房や非常電源などの機能が重要であることから総合的に判断し最適なものを選定します。

ふるさと納税の有効活用で新たな財源確保を！

加藤　勉　議員



議員　平成20年度に始まったふるさと納税は17年を経過し、現在、約1兆3千億円を超える一大産業にまで拡大する一方で、都市部自治体では税収減の課題が生じていることが指摘されていますが、10月以降の制度改正を伺いたい。

市民経済部長　経費率が現行の50％から40％に段階的に引き下げられる他、地場産品基準が厳格化され、特例控除額の上限額も見直されます。

議員　令和7年度ふるさと納税受入額の県内順位を伺いたい。

市民経済部長　第1位が守谷市で約71億円、第2位が境町で約56億8千万円、龍ケ崎市は県内44市町村の内、第26位で約4億6千万円となっています。

議員　ふるさと納税受入額全国市区町村別順位で第1位の大阪府泉佐野市は約230億4千万円で、龍ケ崎市とは特産品の相互取扱協定を締結しています。

　また、県内には守谷市や境町など、全国トップクラスのふるさと納税の先進自治体があります。実務面でのノウハウを学ぶためにこれらの先進自治体への職員派遣は実施しないのか。

市長　今年度、ふるさと納税制度を所管する総務省市町村税課へ実務研修生を派遣しており、制度運用の実務に携わると共に、全国自治体の取組や最新の動向に触れながら、専門的な知識の習得や実務能力の向上に努めています。

議員　市税の増収が見込めない現状ですので、新たな財源確保のためにふるさと納税を専門業務とする課を新設願いたい。

牛久沼を「見る場所」から「巡って楽しむ場所」へ

山村　尚　議員



議員　牛久沼には、美しい景観だけでなく、自然や歴史、食など、まだ十分に知られていない魅力があります。

　現在、約20ｋｍの周遊ルートも公開されています。東岸市有地を周遊の起点として、牛久沼全体を巡りながら楽しめる仕掛けをつくり、さらに市内へ人の流れを広げてはどうか。

　訪れた人が魅力を知り、「次はここへ行ってみよう」と思える場所として活用できないか。

総合政策部長　東岸市有地は、美しい夕陽を楽しめる場所であり、国道６号沿いという立地も生かし、牛久沼周遊ルートの重要な拠点として位置付けていきたいと考えています。地域資源を案内するほか、周辺自治体と連携した情報発信なども検討します。



議員　牛久沼を訪れた人が、牛久沼だけで終わらず、市内の飲食店や歴史・文化なども巡り、龍ケ崎全体を楽しんでもらう流れをつくってはどうか。

市長　牛久沼への来訪をきっかけに、市全体の魅力を知ってもらい、人の流れをつくることが重要と考えています。

　牛久沼を一つの起点として、訪れた人が市内を巡り、楽しむことで、さらなる価値を生み出し、好循環につなげていく施策を検討していきます。

議員　「人が来て、巡って、地域とつながる牛久沼」を目指し、市民にも、訪れる人にも、新たな交流や地域との接点が生まれることを期待します。

豪雨災害対策

岡部　賢士　議員



議員　現に危険な場所や冠水リスクの高い箇所の早急な整備と共に、市全体や市外も含めた広い範囲を見て効率良く整備を進められる雨水排水計画に取りかかるべきだと考えるが、市の見解を。

都市整備部長　近年の降雨実績や浸水実績を踏まえた既存排水施設の適切な維持管理と共に、部分的な排水計画の見直しや対策を行う。市単独の対策に留まらず、国や県等と連携し、流域全体を捉えた広域的視点で対策を検討する。

議員　豪雨災害が頻発し、市民の関心が高い今のタイミングを逃さず、雨水出水浸水想定区域図の周知や、新たな防災気象情報、ハザードマップの見方、災害時の適切な行動に関する情報発信等、ソフト対策も積極的に行うよう要望する。

住民自治組織（自治会等）の存続のために

議員　組織運営経費削減に繋がる一つの取組としての、防犯灯の電気料金公費化にあたり、設置基準が見直され、現状より悪くなることはないか。

総務部長　夜間の安全に必要な明るさ確保という考え方に変わりはなく、安全性に配慮した設置を進める。道路の形状や周囲の状況を踏まえ、個々の路線ごとに調整を行い、柔軟に対応していく。

議員　組織加入率低下に対する取組として、住民自治組織の必要性の周知をしっかり行い、子ども向けイベントや見守り活動など地域の実情に応じた支援策等、住民の加入意識を向上させるための新たな取組も検討を進めるよう要望する。

赤字５６７万円！情報公開すれば黒塗り！

大野　誠一郎　議員



議員　「令和７年度スポーツクライミングのまち龍ケ崎」推進事業の実績報告ではなく、検証についてお伺います。

健康スポーツ部長　地域再生計画における本事業の評価検証について、行政経営推進本部による内部評価を７月に行った後、附属機関である行政経営評価委員会において、取組実績や進捗状況の検証を８月に行いました。

議員　実施経過、あるいは実施報告という内容で検証はしていないと思います。

　ユース大会について伺います。令和７年度小・中学生大会の収入１８１９万円、支出が２３８６万円、差引き赤字５６７万円の見積りは適正な見積りと言えますか。

健康スポーツ部長　市の委託金の上限額を８００万円に設定し、出場選手の参加者負担金や受託者の企業努力として集められた協賛金を充て、収支管理は委託会社が行ってます。大会開催前の時点で想定された収支ギャップは、そのギャップの解消に努めるよう、大会共催者として、市の考えを伝えています。本市の考えを伝えた上で、委託者が判断する差配の範疇と考えています。

議員　ある意味、市（共催者、８００万円の委託金）としては知らないということでしょう。が、しかし、大会前、見積り金額調整の中の見積書を提出、その後調整後の金額を提出しないで、大会後の決算実績を提出。その収支実績がわからないから、どのようなお金の使い方をしたのかと考え、情報公開請求をしたら「金額」は黒塗り。金額はわからないようになっている。

子どもたちが「自分には価値がある」と思える教育を

石引　礼穂　議員



議員　子どもたちを取り巻く環境は、学力や友人関係、将来への不安など複雑化しています。

　失敗しても自分の価値まで否定せず、「自分はここにいていい」と思える自己肯定感は、生きていく上で大切な土台です。

　本市の現状と取組は。

教育監　「自分によいところがある」と答えた児童・生徒は8割を超えていおります。また、「先生が自分のよいところを認めてくれている」と感じている児童・生徒も9割近い数値となっています。

　日々の授業や学校行事、外部講師による講話などを通して、自分のよさや成長を実感し、自信を持って次の活動に挑戦できるよう取組を進めています。

議員　自己肯定感は、一度の講話で身につくものではありません。日々の生活の中で、自分も相手も大切な存在だと繰り返し実感することが必要です。外部講師の継続的な活用や保護者への支援も含め、教育委員会が主体となって取組を進めてほしい。

　正解・不正解だけでは測れない、一人ひとりの個性や思いがあります。

　「自分にも価値がある。あなたにも価値がある」。そう思える子どもが増えることが、安心して学び、挑戦し、互いを認め合える学校につながると考えます。



掲載以外の質問事項

◆牛久沼東岸市有地の整備方針と民間活動・広域連携のあり方について

竜ヶ崎第二高等学校の探究学習への協力

　今年度、竜ヶ崎第二高等学校では、地域課題の発見・解決や政策提案を目指す「地域連携探究学習」に取り組んでいます。地域の課題を自ら発見し解決策を探ることは、これからのまちづくりを考える上で大変重要な取組です。本市議会では、この取組を支援するため、同校と連携して協力していくこととしています。

　この取組の一環として、９月９日には生徒 29 名が決算特別委員会を傍聴し、市の事業や予算の使われ方について、議員がどのような視点で議論しているのかを学んでいただきました。

　また、市議会の役割や議会運営の仕組みについて説明するとともに、普段はなかなか入る機会のない議場を見学し、市議会への理解を深めていただきました。

　今後は、７つの探究テーマごとに調査・研究を進め、地域の課題解決に向けた提案につなげていく予定です。

　本市議会としても、生徒の皆さんが地域への関心を深め、まちづくりについて考える機会となるよう、引き続き連携・協力してまいります。

〔探究テーマ〕

①グリーンツーリズム
　農家連携イベントを通したグリーンツーリズムの普及促進

②保護ネコ・地域ネコ活動
　「さくら耳」認知度調査、認知度向上

③関東鉄道竜ヶ崎線
　竜鉄の利用率向上、高校生への通学定期補助の提案

④定住促進
　先進事例に学ぶ「真の定住条件」の提案

⑤通学路改善
　LINE 通報システムの認知度向上、通学路改善

⑥パンダバス（通学バス）
　通学路の安全対策とパンダバスの乗降環境の改善

⑦公園美化
　投票型ゴミ箱を活用した公園美化の仕組みづくり



▲傍聴の注意事項や決算特別委員会について説明しました



▲議場を見学し、議会運営の仕組みについて説明しました



▲生徒 29 名が決算特別委員会を傍聴しました

議会を傍聴しませんか？

本会議や委員会は、一般に公開しており傍聴することができます。
市議会では皆さんの生活に関連する重要な問題が審議されています。
市政を身近に知るために市議会の傍聴にぜひお越しください。

受付から傍聴までの流れ

1．議会事務局（市役所５階）へお越しください
2．傍聴券に住所・お名前をご記入ください
3．傍聴席（市役所６階）で本会議をご覧ください

龍ケ崎市議会公式ＳＮＳ

X（旧 Twitter）　Facebook　Instagram　Youtube

推選

▼人権擁護委員

新任



黒澤（くろさわ）　悦子（えつこ）　氏

お見舞い

令和８年熊本地震に被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

龍ケ崎市議会では、被災地域の早期復興支援のため、議員の善意21万円を義援金として、九州市議会議長会へ送金しました。義援金は、被災地域の支援のため拠出されました。

龍ケ崎市議会だより（まいりゅうリポート）の「表紙写真」を募集しています

▶募集内容「龍ケ崎市議会だより」の表紙写真
- 応募者本人が龍ケ崎市内において１年以内に撮影したもの　・未発表のもの
- デジタルデータで提供できるもの
- 人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けているもの
- 個人の所有物を被写体とした場合は、所有者の承諾を受けているもの

▶応募資格　市内在住・在学・在勤の方

▶応募方法 / 応募先

①応募者（撮影者）の氏名、住所、連絡先、②撮影年月日、③撮影場所、④写真のタイトル・一言コメントをご記入のうえ、メール (gikai@city.ryugasaki.lg.jp) によりご応募ください。

▶応募期間　年間を通じて随時受付します

▲募集の詳細については
こちらからご覧ください

編集後記

実りの秋、食欲の秋、読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋、暑さも落ち着き、風が涼しくなったこの頃、みなさんは何を楽しんでいますか？

多くのイベントが開催されていますが、これらを支えているのは市民活動の皆さんです。「まちづくりの原点は市民活動にあります」市民と行政の「協働」によるまちづくりを大切に育てて頂きたい。

決算議会と言われる９月定例市議会が閉会しました。人口減少・少子高齢化・社会保障関係経費の増加・公共施設等社会インフラの老朽化など、財政需要が見込まれる中で、既存事業を漫然と継続するのではなく、事業の必要性、有効性及び費用対効果を常に検証し、社会経済情勢や市民ニーズの変化に応じて事業の見直しを進めることが重要です。

限られた財源を真に必要な分野へ重点的に配分するため、「ムダ・ムリ・ムラ」をなくし、新たな行政課題への対応に必要な財源の確保に努めることが重要と考えます。

油原　信義　記



次の議会

令和８年第４回定例会
12月10日
開会予定です

広報委員会

委員長　石嶋　照幸
副委員長　伊藤　悦子
委員　山宮留美子
委員　岡部　賢士
委員　後藤　光秀
委員　油原　信義

◆発行　龍ケ崎市議会
◆編集　広報委員会
◆301-8611 茨城県龍ケ崎市 3710
◆TEL 0297-60-1566
◆FAX 0297-60-1585
◆Mail gikai@city.ryugasaki.lg.jp

（再生紙を使用しています）